

そもそもアレルギーってなに？

外から入ってきた異物を排除しようとする機能を『免疫』といいます。本来、細菌やウイルスから身体を守ってくれる大切な仕組みである『免疫』ですが、食べ物やホコリ・花粉など、身の回りにある、通常は身体に害のないものに『免疫』が過剰反応してしまうことをアレルギーとよんでいます。以下はアレルギーに関する代表的な疾患です。

ぜん息 / 長引く咳

気道が狭くなり呼吸が妨げられゼーゼー・ヒューヒューという音をとまなう呼吸障害や慢性的な咳が特徴です。進行すると、ちょっとした刺激でも発作が起きやすくなります。



食物アレルギー

食べ物が原因となって引き起こされるアレルギーです。主な症状として発疹・じんましんなどの皮膚症状、お腹が痛くなるなどの消化器症状、ゼーゼーするなどの呼吸器症状があります。



アトピー性皮膚炎

皮膚にかゆみをとまなう湿疹がみられ、良くなったり悪くなったりを繰り返します。夏の汗や日差し、冬の乾燥など季節の影響を受けて症状が変化します。掻くことによって症状は悪化します。



アレルギー性鼻炎 / アレルギー性結膜炎

くしゃみ・鼻水・鼻づまり、目のかゆみ・充血などの症状を引き起こします。スギ花粉症に限らず、花粉症、ダニを主成分とするハウスダストによる通年性のものなど、原因アレルゲンにより症状が出る時季もさまざまです。近年では発症が低年齢化しています。



PFAS (花粉 - 食物アレルギー症候群)

果物や野菜を食べた後に口・唇・喉などにイガイガ感やかゆみ、腫れがみられます。原因食物として、リンゴやキウイなどがあります。多くは花粉症に合併する食物アレルギーであり、原因食物と同時に花粉の回避も重要です。

もっと詳しく知りたい方は

みんなのアレルギー情報室

検索



原因を知ることがアレルギー治療の第一歩です

アレルギーの原因は身近なところにあります

アレルギーを引き起こす物質を「アレルゲン」といい、私たちの周りのいたるところに存在します。

アレルギーの原因は1つとは限りません

アレルゲンとなる物質は人によってさまざまです。1人が複数の原因アレルゲンをもっていることもあります。



アレルギーの原因となることが多い**アレルゲン 39種類**を一度に調べられるアレルギー検査です。

吸入系・その他		食物系	
室内塵	ヤケヒョウヒダニ ハウスダスト1	卵	卵白、オボムコイド
動物	ネコ皮膚 イヌ皮膚	牛乳	ミルク
昆虫	ガ ゴキブリ	穀類	小麦、ソバ、米
樹木	スギ、ヒノキ ハンノキ(属) シラカンパ(属)	甲殻類	エビ、カニ
イネ科植物	カモガヤ オオアワガエリ	豆類	大豆 ピーナッツ
雑草	ブタクサ ヨモギ	肉類	鶏肉、牛肉、豚肉
真菌	アルテルナリア(ススカビ) アスペルギルス(コウジカビ) カンジダ、マラセチア(属)	魚類	マグロ、サケ、サバ
職業性	ラテックス	果物	キウイ、リンゴ バナナ
		その他	ゴマ

青文字はアレルギー物質を含む食品の表示義務・推奨食品に関連する項目です